

損切り位置をズバッと決める方法



あやな

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条

本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条

禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条

損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条

契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条

責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

目次

自己紹介	4
命綱	4
あなたの資産を守る色々な方法	6
私がやらかしてきたこと	8
結局、どうすればいいの？	10

自己紹介



こんにちは。福岡在住のあやなです。

2008年からトレードを始めました。
トレードにおけるメンタルの部分を
ブログで書いています。

プロフィールはこちら

⇒<http://mentaltrading.biz/profile>

命 網

ところで、『損切』って言葉ご存知だろうか？

「損切くらい、知ってるよー！」

「損切知らなけりゃ、トレードで生きていけないよ？」

と、そんな声が聞こえてきそうだが、確認のためにも
いま一度、損切について知っていてほしい。

「損切？何それ？」と思ったあなた！

損切について知ることができてよかったね！

あんな、今日は本当にはツイてるよ！

ほんとに、よかったよかった！

ということで、早速損切についてお話ししよう。

【損切とはあなたのお金を守る命綱】

バンジージャンプって知ってるだろうか？

高いところからびよ～んと飛んで
ブーラブーラと空中に放り出されるのを
楽しむ、スリリングな遊びだ。

私は高所恐怖症だから、「絶対にやらない！」と決めている。

あ、城島高原パーク(九州にある遊園地)の
バードマンっていうバンジージャンプまがいの
ものはやったことあるけどね。

「怖くないよ」ってダメされてやってみたけど
30メートル近く持ち上げられたときは正直、
意識を失いそうになった。

あんなのは、ホント、やるもんじゃない。
もう、二度とダメされないぞ！！

で、バンジージャンプする時に命綱つけるよね？

あれがなかったら、まさかさまに落ちて・・・
あー、もうこれ以上は表現できない。

このバンジージャンプの命綱、これと同じ効果をしてくれるのが『損切』だ。

こう考えると『損切』をカンタンにイメージできるだろう。

で、この損切だが設定する方法がいくつかある。

短すぎてもダメだし長すぎてもダメ。
ちょうどいい長さに設定する必要がある。

バンジージャンプだって、短すぎるとスリルがないし
長すぎるとグシャって死んじゃうよね・・・あ、言っちゃった。

バンジージャンプの話はここまでにしておこう。

あなたの資産を守る色々な方法

【損切の種類】

損切にはいくつか種類がある。

- 1 テクニカルストップ
- 2 ボラティリティストップ
- 3 固定値ストップ
- 4 パーセントストップ

大きくこの4つに分けられる。

じゃあ、めんどろだけど一つ一つ見ていこうか。

(面倒なら飛ばして読んでもいいよ)

1 テクニカルストップ

・テクニカル的な根拠を元にして決める方法

※支持線やトレンドラインや高値安値ラインとか
そのほか色々な分析方法があるよ。

2 ボラティリティストップ

・その日の価格のボラティリティを計算して
そのボラティリティの外に損切ポイントをもっていく方法

3 固定値ストップ

・Opips 反対に動いたら損切をする方法
前もって反対方向に動く割合を決めておくやり方

4 パーセントストップ

- ・資金の全体の何パーセント下がったら損切する、
というように資金に対して損切の割合を決める方法。

(ここから先は、飛ばさずに読んでね)

なんだか、たくさん方法があるね。
一体どれを使ったらいいか、迷うよね。

そう。

どれを使ったらいいか迷うんだよね。

ここが問題だ。

私がやらかしてきたこと

以前、こんなことがあった。

エントリーして、損切を-10ピプスに置いていたら
-11ピプス反対に行った後に反転して、その後
100ピプスも動いたんだ！

(※ピプスとは為替の取引レートにおける最小単位のこと。

ピップス、pip、pips と表現されることが多い。

トレードやってれば、スグに慣れると思うよ。)

「あと1ピップス、遠いところに損切を置いておけば・・・」

もうね、くやしうってくやしうってたまらないわけだ。

しかも、悲しいことに、テクニカル的に意味のある
ポイントに損切を置いておけば、損切に引っかけから
ずにすんでいたんだ。

「明日はテクニカル的に意味のあるポイントで
損切をしよう！」

私はそう心に誓ったわけだ。そして次の日・・・

テクニカル的に意味のあるポイント、つまり
安値よりちょっと下に損切を置いておいた。

損切までの幅は30ピプス。

エントリーしてしばらくすると、残念ながら価格は
マイナス方向に動いて行った。

でも、私は

「今日は、テクニカル的に意味があるポイントに
損切を置いているから、そこで反転するだろう。」

と、期待していた。

しかし期待は裏切られ、ズルズルとマイナス方向に動いていく。

「あー もうすぐ損切に引っかかっちゃうよ！
とまれとまれとまれ！あーあ、損切だ。」

「こんなことなら、昨日と同じようにマイナス10
ピプスに設定しとけばよかった。そうすれば余計に
20ピプス損することもなかったな。」

「あーあ、明日はマイナス10ピプスに損切位置を戻そう！」

で、次の日はテクニカル的に意味のあるポイントに
損切を設定しておけば良かったのに・・・と後悔するわけだ。

この話はこのまま永遠と続くことになるので
このくらいにしておこう。

さて、少し話が複雑になったから
シンプルに振り返ってみよう。

昨日⇒ マイナス10ピプスで損切を設定

今日⇒ テクニカル的に意味のあるポイントに損切を設定

明日⇒ マイナス10ピプスで損切を設定

明後日⇒ テクニカル的に意味のあるポイントに損切を設定

こんな風に、「その時その時で損切の設定を変えていた」わけだ。
これじゃあ 勝てるものも勝てなくなるんだよね。

え？「なんで勝てるものも勝てなくなるのか？」って？

それは、トレードには【一貫性】というものが
必要になってくるからだ。

【一貫性】の話をする、また複雑になってしまうから
今日はお話するのはやめておこう。

(ちょっと疲れてきたし・・・テヘ)

結局どうすればいいの？

ようするに、昨日決めた損切方法と今日やる損切方法、
そして明日やる損切方法は、ズバリ！
どれも同じものを使った方がいいということだ。

その方法は、10ピプスで固定してもいいし、
テクニカル的に意味のあるものでもいいし
とにかく一つ決めれば、何でもいい。

何でもいいんだけど、最初に
トレードを練習する上で大切なのは

一つの損切方法だけに固定するのがいい。

それから、損切の幅はあまり小さくするとすぐに
引っかかってしまうから、最初は少し大きめに
設定しておくといいよ。

もちろん、利益は損切幅以上を狙う必要があるよ。

「損切幅以上狙えない！」っていうときは
トレードしたらダメだからね！

これは基本的な考え方だから、このやり方が
全てだというわけではないけど、かなりいい
やり方だと思うよ。

今日のお話はここまで。

損切を選ぶ方法について少しは参考になっただろうか？

このレポートを読んで、ご意見・ご質問があれば
ぜひぜひお待ちしております。
お返事は必ず差し上げます！

ご意見ご質問はこちら
⇒<http://mentaltrading.biz/web/ques.html>

それじゃあ、次回のメールでまたお会いしましょう。
お楽しみに！

あやな

運営ブログ：<http://mentaltrading.biz/web/site.html>

最後まで読んで頂きましてありがとうございました！